

・活動の内容および成果

1. 活動の内容

活動の内容は、河崎地区における既存のまちなみ景観調査の整理及び補足調査、河崎地区のまちなみ保全地区案及び河崎地区まちなみ保全指針案の作成、河崎地区・景観形成のためのガイドライン作成であり、いずれも地域住民を中心とした検討の場としてまちづくりワークショップを企画運営し、参加者と事務局の協働作業を通じて取り組んでいった。

最終成果物としては、景観形成ガイドライン（案）として河崎の景観を特徴づけている景観形成要素を確定すると共に要素ごとの整備方針をまとめている。

ワークショップ参加者は、河崎まちづくり協議会を通じて各町内会から選ばれたメンバーと伊勢河崎まちづくり衆のメンバーが中心となり、また三重建築士会伊勢支部と三重大学浅野研究室が企画運営のサポートメンバーとして参加し、合計47名であった。

2. 活動記録及び成果物

活動記録として、まちづくり講座（平成17年1月15日）、第1回まちづくりワークショップ（同年1月22日）、第2回まちづくりワークショップ（同年2月2日）、第3回まちづくりワークショップ（同年3月6日）におけるプログラム・配布資料・成果物などを次ページ以降に順次とりまとめる。なお第3回まちづくりワークショップにおいて景観形成ガイドライン案について最終的にとりまとめたため、途中経過である第2回まちづくりワークショップの成果物については報告書のページ数の制約の都合上割愛させて頂く。

[活動記録]

- (1) まちづくり講座（プログラム・配布資料）
- (2) 第1回まちづくりワークショップ（プログラム・配布資料・成果物）
- (3) 第2回まちづくりワークショップ（プログラム）
- (4) 第3回まちづくりワークショップ（プログラム・配布資料）
- (5) まちづくりワークショップ最終成果物
- (6) 付録（活動の様子・参加者名簿）

3. 成果

(1) 住民主体によるまちづくりワークショップによる協働の場づくりと問題意識の共有
河崎まちづくり協議会と伊勢河崎まちづくり衆のメンバーが中心となってまちづくりワークショップに参加することにより本格的な協働の場がつくられると共に、今後の景観まちづくりを進める上での基本的な問題意識を共有する場ともなり、意義のある経験を育むことが出来た。

(2) 住民の目線からとらえた景観形成ガイドライン案のとりまとめ

全体的に参加者の主体的な取組みを尊重し、河崎の景観の変容や現状をよく知る住民の目線を大切にしていりまとめることにより、景観を特徴づけている景観形成要素について幅広く網羅した景観形成ガイドライン案をとりまとめることが出来た。

(3) 「失われた景観」や「特別な時（ハレ）の景観」も含めたとりまとめ

多くのまちですでに作成されている景観形成ガイドラインは、現存している景観形成要素を中心に作成されていることが多い。河崎では河川改修事業により特に水辺景観が大きく変容していることを踏まえて、現存する景観にこだわらずに過去に「失われた景観」でも取り戻したいもの・復元したいものも検討し、「理想モノ」としてとりまとめている。また河崎は商人のまちであり、他の歴史的町並みと同様に地域固有の様々な行事が育まれてきているため、「日常時（ケ）の景観」に限定せずに正月や祭りなどの「特別な時（ハレ）の景観」にも焦点をあて、「ハレ」と「ケ」の両方のバランスのある景観形成ガイドライン案とすることが出来た。

Ⅲ. 活動内容及び成果

(1) まちづくり講座

ママまちづくり講座プログラム

ママまちづくり講座レジュメ

まちづくり講座

18：30ー ●受付開始

19：00ー 19:00 1. あいさつ (5分)
●あいさつ

19：00ー 19:20 2. まちづくり講座 最初の30分
→ 町と町外へ出る目安となるママまちづくりのPD. 1. 町として活動すること

19：20ー 休憩 (10分)

19：20ー 19:30 3. まちづくり講座 最初の30分
→ 町外へ出る目安となるママまちづくりのPD. 2. 活動の仕方

19：30ー 19:40 4. まとめ (10分)
●あいさつ

21：00 終了

歴史的景観とまちづくり(その2)

伊勢河崎の景観形成要素の再確認に向けて

三重大学 浅野 聡

景観とは?

景観とは...
人間を取り巻く
環境のながめ
(中村良夫)

目と心に見えるもの全て
物的なもの
(町並み・自然など)
非物的なもの
(歴史・文化など)

風情とは...
独特のおもむき
あじわい



(伊勢市景観マスタープラン)

三重県内の市町村の景観まちづくりへの取り組み状況

景観条例を制定している市町村

- (1) 上野市ふるさと景観条例(旧上野市)
- (2) 二見町の景観・文化を守り、育て、創る条例(二見町)
- (3) 伊勢市まちなみ保全条例(伊勢市)
- (4) 関宿伝統的建造物群保存地区保存条例(旧関町)
- (5) 四日市市都市景観条例

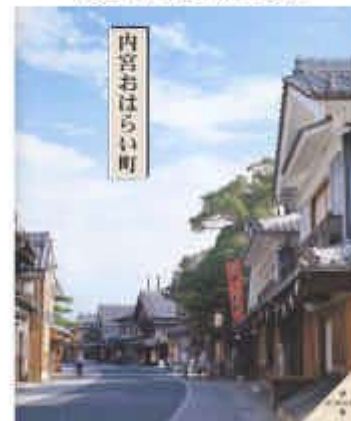
上野市ふるさと景観条例



二見町の景観・文化を守り、育て、創る条例 二見町茶屋地区



伊勢市まちなみ保全条例



金沢市こまちなみ保存条例
旧彦三一番丁・母衣町区域こまちなみ保存基準



各市町村の取り組み(まとめ)

- ◎景観まちづくり方針を定めた景観形成ガイドラインの作成
 - ・景観形成地区の指定
 - ・景観形成要素のリストアップ
 - ・景観形成要素に対するデザイン基準の設置
 - 段階的な基準(基本基準・応用基準)
- ◎現状の課題
 - ・現存している景観に限定
 - ・日常時の景観に限定
 - ・建築物・工作物に限定(町並み景観の基本:建築物)
 - ・表現方法の程度の差(解説文、写真やイラストの有無)

河崎の景観要素を再確認しよう

次回ワークショップに向けて
(2005年1月22日)

「伊勢河崎」ならではの景観まちづくりへ

- ◎多様な視点からの景観形成要素のリストアップへ
- 頭を柔らかくして考えよう

- (1) 現存しているものだけにこだわらずに考えよう
(過去に失った景観で取り戻したいものは...)
- (2) 「ハレ」と「ケ」の両方をバランスよく考えよう
- (3) 基本となる建築物の要素を再確認しよう
さらに建築物・工作物以外のものも考えよう
- (4) わかりやすく解説出来るようにまとめよう
(丁寧な解説文・写真やイラストつき)

河崎の景観を特徴づける要素(例)

| 着眼点 | 内容 | 河 | |
|---------------------------|--|---|---------------------------------|
| | | 日常時の景観[ケ] | 特別な時の景観[ハレ] |
| 宝モノ (景観形成要素) | ・本質にしたいところ ・見せたいところ ・残したいところ | ・伝統的建築物(瓦葺き屋根、土蔵など) ・伝統的工芸物(刀、漆、茶碗、茶巾、古道具) ・伝統的景観要素(土蔵、土樋、土蔵、土蔵、土蔵) | ・祭人形・天王祭 ・草薙れ正月 ・その他イベント等 |
| 問題モノ (景観形成要素) | ・景観の劣化を招くもの ・景観を損なうもの ・景観を損なうもの ・景観を損なうもの | ・瓦上駐車が多い ・景観にそぐわない ・地蔵自動車・違法の転売 ・景観が良くないもの ・ゴミの投げ捨て等 | ・イベント時に 路上駐車が多い等 |
| 理想モノ (失われた・取り戻したい景観要素) | ・失われたところ ・取り戻したいところ ・景観を損なうもの | ・かつてあった景観や 木造の建ち ・景観の劣化防止等 | ・かつてあった伝統的景観 ・草薙れ正月に行う行事等 |

この続きは
次回ワークショップにて...

(2) 第1回まちづくりワークショップ

まちづくりワークショップ・プログラム
 まちづくりワークショップ・スタッフマニュアル
 マム・ミグループ ルート区
 マム・ミグループ 各核地区
 マム・ミグループ カード数地区

第1回まちづくりワークショッププログラム 目標と実施目的は変更された実施しよう

12. 10- 準備付期間
 12. 10- 1 1 ぬいぐるみ (20分)
 ●準備期間
 ●準備期間
12. 10- 1 2 準備付期間 (20分)
 ●準備期間
 ●準備期間
12. 10- 1 3 準備付期間 (20分)
 ●準備期間
 ●準備期間

| 実施日 | 内容 | 実施目的 (目的) | 実施内容 (内容) |
|-------------|------|----------------------------|--------------------------|
| 12. 10- 1 1 | 準備期間 | ●地域の現状を把握し、課題を抽出し、課題を整理する。 | ●調査結果の整理 (12. 10- 1 1 1) |
| 12. 10- 1 2 | 準備期間 | ●地域の現状を把握し、課題を抽出し、課題を整理する。 | ●調査結果の整理 (12. 10- 1 2 1) |
| 12. 10- 1 3 | 準備期間 | ●地域の現状を把握し、課題を抽出し、課題を整理する。 | ●調査結果の整理 (12. 10- 1 3 1) |

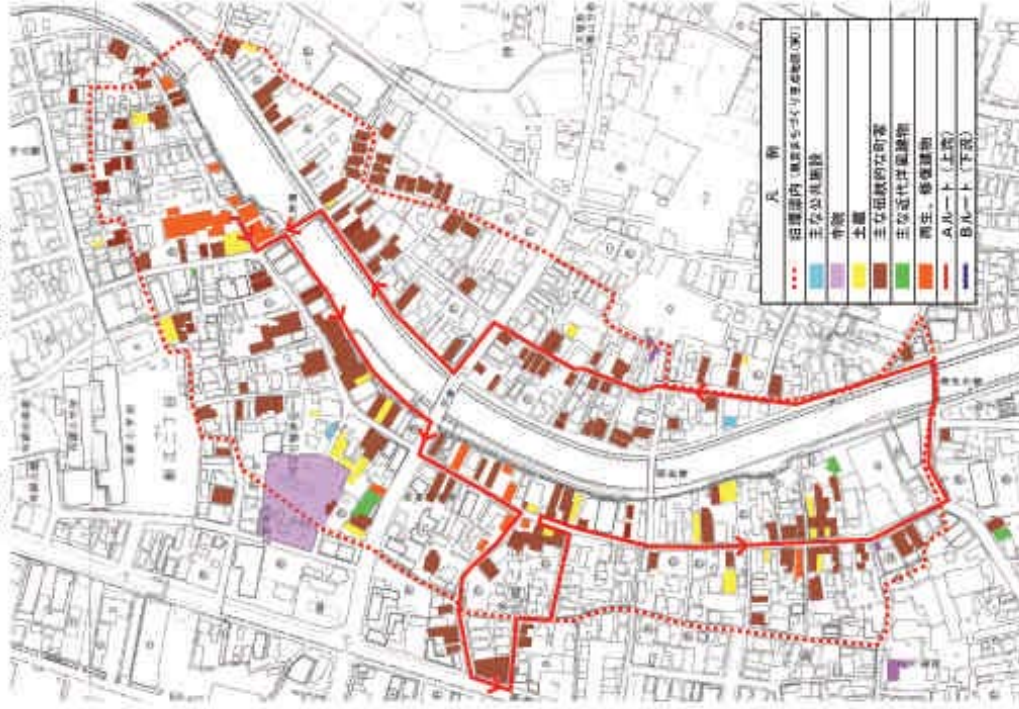
12. 10- 1 4 準備期間 (20分)
 ●準備期間
 ●準備期間
12. 10- 1 5 準備期間 (20分)
 ●準備期間
 ●準備期間
12. 10- 1 6 準備期間 (20分)
 ●準備期間
 ●準備期間
12. 10- 1 7 準備期間 (20分)
 ●準備期間
 ●準備期間
12. 10- 1 8 準備期間 (20分)
 ●準備期間
 ●準備期間
12. 10- 1 9 準備期間 (20分)
 ●準備期間
 ●準備期間
12. 10- 1 10 準備期間 (20分)
 ●準備期間
 ●準備期間

第1回まちづくりワークショッププログラム・スタッフマニュアル

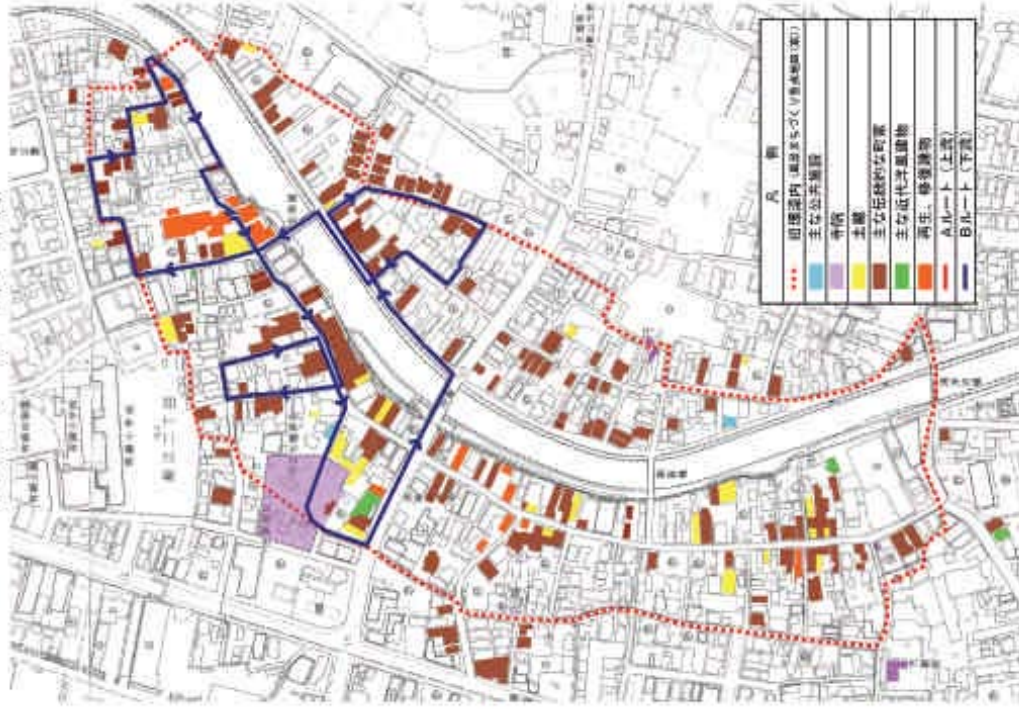
12. 10- 1 1
 12. 10- 1 2
 12. 10- 1 3
 12. 10- 1 4
 12. 10- 1 5
 12. 10- 1 6
 12. 10- 1 7
 12. 10- 1 8
 12. 10- 1 9
 12. 10- 1 10

12. 10- 1 11
 12. 10- 1 12
 12. 10- 1 13
 12. 10- 1 14
 12. 10- 1 15
 12. 10- 1 16
 12. 10- 1 17
 12. 10- 1 18
 12. 10- 1 19
 12. 10- 1 20
 12. 10- 1 21
 12. 10- 1 22
 12. 10- 1 23
 12. 10- 1 24
 12. 10- 1 25
 12. 10- 1 26
 12. 10- 1 27
 12. 10- 1 28
 12. 10- 1 29
 12. 10- 1 30
 12. 10- 1 31

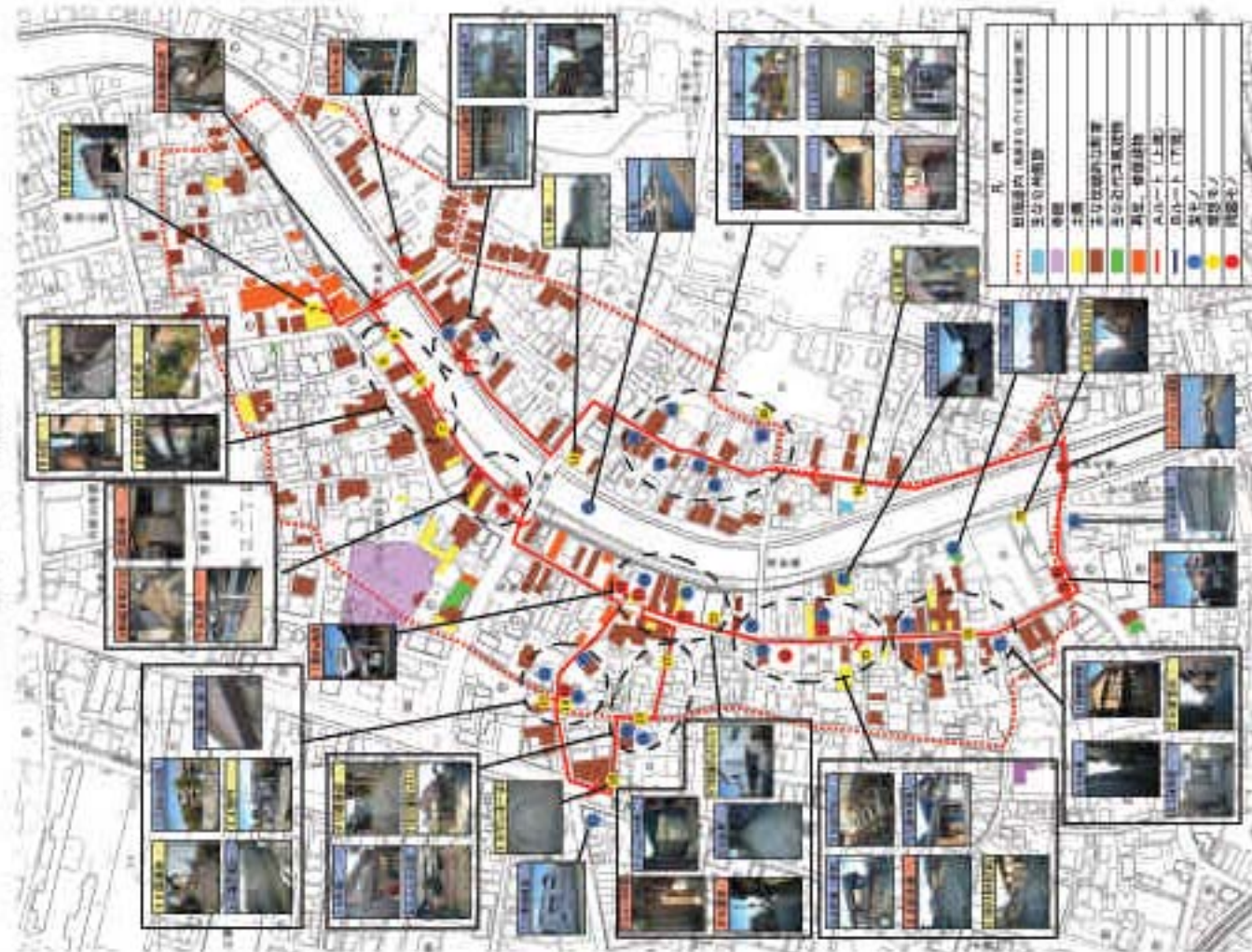
Aグループ・ルート図（上流）



Bグループ・ルート図（下流）



Aグループ・点検地図

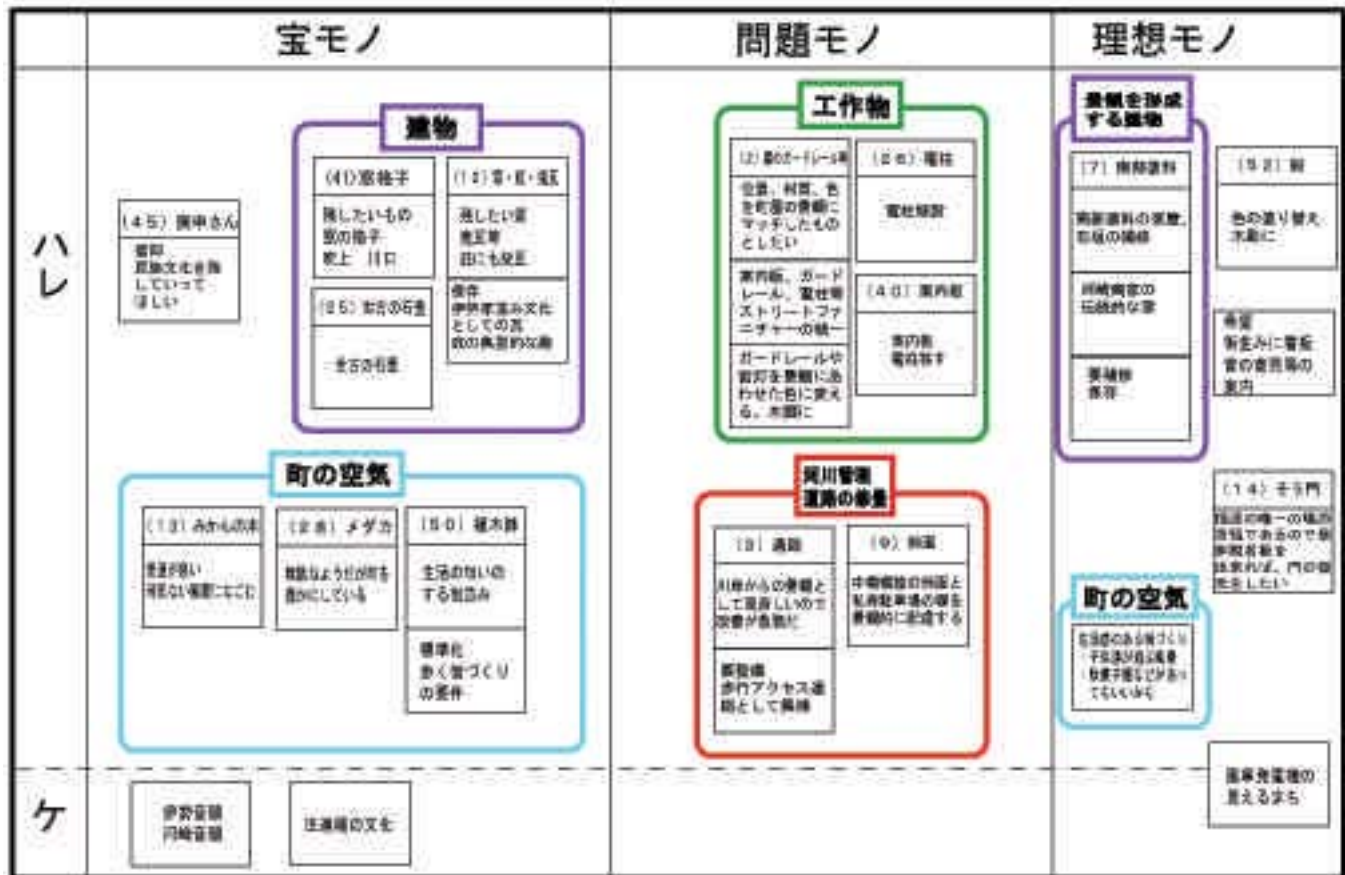


Bグループ・点検地図



Aグループカード整理図

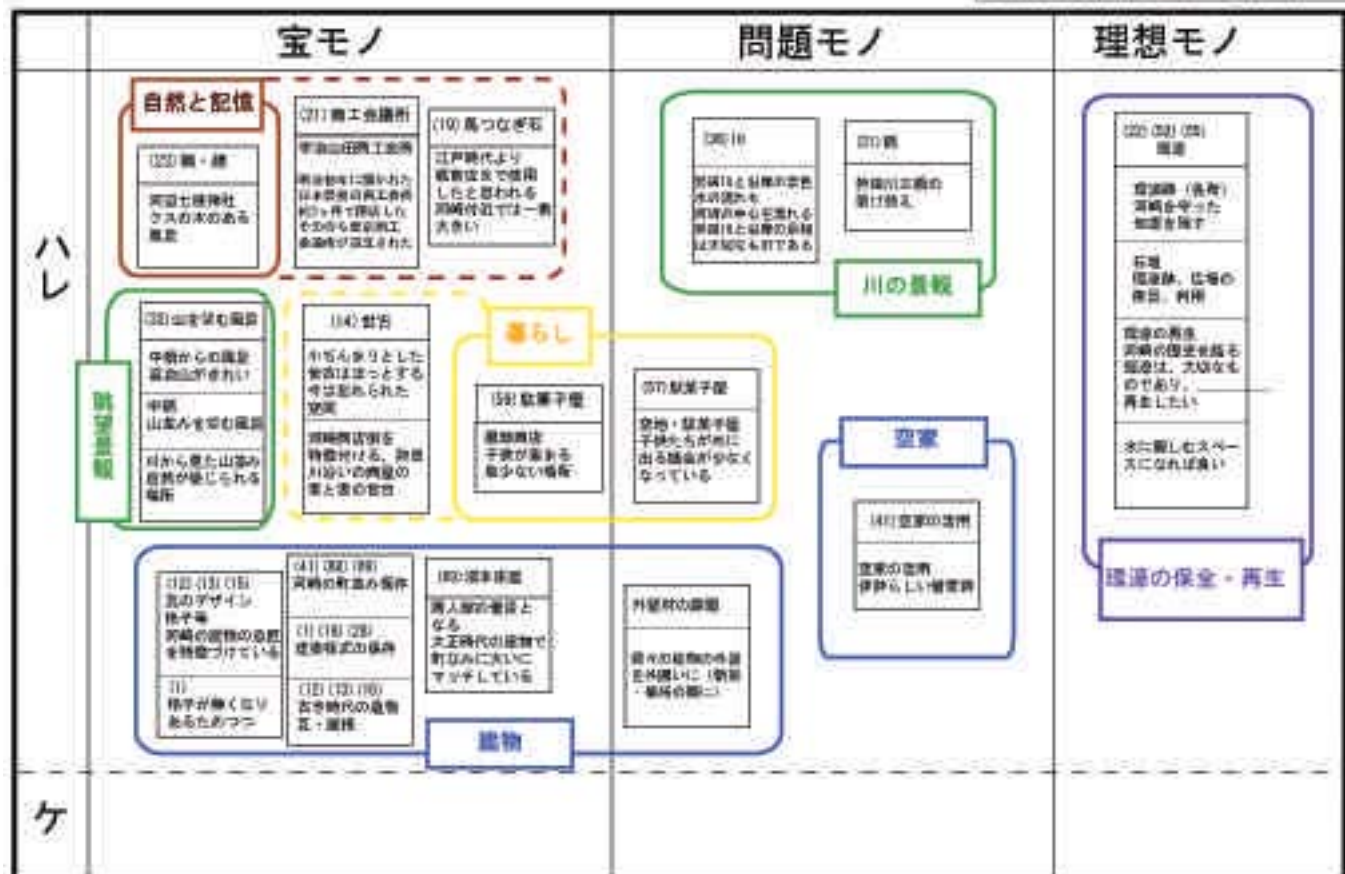
| | | | | |
|----------|---------------------------------|-----------------------|-------------------------|------------------------|
| メンバー | 菅原 健 山田 太郎 藤原 浩一 中野 浩二 | 利根 幸司 中野 健 川村 浩 | 有田 昌雄 山田 太郎 藤原 浩一 | 菅原 健 山田 太郎 藤原 浩一 |
| ファシリテーター | 藤原 浩一 | | | |
| 二宮大学スタッフ | 菅原 健、中野 浩二、川村 浩 | | | |



Bグループカード整理図

「鎮守の森・世古・駄菓子屋のあるなつかしいまちなみ
(勢田川も忘れてません)」

| | | | | |
|----------|---------------------------------|-----------------------|-------------------------|------------------------|
| メンバー | 菅原 健 山田 太郎 藤原 浩一 中野 浩二 | 利根 幸司 中野 健 川村 浩 | 有田 昌雄 山田 太郎 藤原 浩一 | 菅原 健 山田 太郎 藤原 浩一 |
| ファシリテーター | 藤原 浩一 | | | |
| 二宮大学スタッフ | 菅原 健、中野 浩二、川村 浩 | | | |



(3) 第2回まちづくりワークショップ

まちづくりワークショップ・プログラム
まちづくりワークショップ・スタッフマニュアル

第2回まちづくりワークショッププログラム 実施要項と進め方とめよう

目次

| | |
|---|---|
| 目次 | 1 |
| 1. 1回- STEP 1 あいさつ (10分) | 2 |
| 2. 1回- STEP 2 第一回の成果を確認しよう (10分) | 3 |
| 3. 1回- STEP 3 第一回の内容を振り返ると共に、活動要項をとりまとめよう (10分) | 4 |
| 4. 1回- STEP 4 まとめ (10分) | 5 |
| 5. 1回- STEP 5 グループ発表 (10分) | 6 |
| 6. 1回- STEP 6 まとめ (10分) | 7 |

第2回まちづくりワークショッププログラム・スタッフマニュアル

くはりに

このワークショップは、2012年度に実施されています。実施要項は数回変更を繰り返して、最終的にこのようにまとまりました。また、資料も最終的にこのようにまとまりました。このワークショップを実施するにあたって、このマニュアルを参考にしてください。

| | |
|---|---|
| 1. 1回- STEP 1 あいさつ (10分) | 2 |
| 2. 1回- STEP 2 第一回の成果を確認しよう (10分) | 3 |
| 3. 1回- STEP 3 第一回の内容を振り返ると共に、活動要項をとりまとめよう (10分) | 4 |
| 4. 1回- STEP 4 まとめ (10分) | 5 |
| 5. 1回- STEP 5 グループ発表 (10分) | 6 |
| 6. 1回- STEP 6 まとめ (10分) | 7 |

| | |
|---|---|
| 目次 | 1 |
| 1. 1回- STEP 1 あいさつ (10分) | 2 |
| 2. 1回- STEP 2 第一回の成果を確認しよう (10分) | 3 |
| 3. 1回- STEP 3 第一回の内容を振り返ると共に、活動要項をとりまとめよう (10分) | 4 |
| 4. 1回- STEP 4 まとめ (10分) | 5 |
| 5. 1回- STEP 5 グループ発表 (10分) | 6 |
| 6. 1回- STEP 6 まとめ (10分) | 7 |

1.分権化時代の地方都市の個性づくり

1) 地方分権と個性づくり

- ・新しい価値の創出

2) 住んでよし訪れてよしの街

- ・観光形態の変化(ツーリズム) まちなか居住の住まい方、生活文化の発信

3) 生活文化の発見方法

- ・市民のこだわり、個性を抽出する
- ・市民参加による計画策定

4) 地域を支える多様な主体、担い手づくり

- ・市民組織、学生、お年寄り、主婦、
- ・市民参加の必要性

2.福井県大野市の街なみ環境整備事業の紹介

街なみ環境整備事業とは

越前大野の状況・空間構成・街の資源

2段階の計画策定プロセス

計画案、協定案の紹介